

令和3年度 富山高等学校アクションプラン -3-

重点項目	進路支援	
重点課題	生徒一人ひとりの適性や能力を引き出す学習・進路指導	
現 状	<p>1 進路目標の達成に向け、自主的で意欲的な学習に結びついていない生徒が多くなっている。</p> <p>2 一人ひとりの生徒に応じた進路支援を行うよう努めているが、生徒自らが自己の適性や能力を十分に考えて進路目標を定めているとはいいがたく、自己を過大あるいは過小に評価した進路目標を設定してしまう生徒が見られる。</p> <p>3 日々の学校生活に追われ、学習内容の見直しが十分にできていない生徒が多く見られる。</p>	
達成目標	①「学習・生活習慣の確立」	②「進路目標(志望校)の設定」
	・校内で実施している定期テスト、課題テストおよび実力テストの見直し(振り返り)の徹底	・目標とすべき志望校が、第2学年で決定している。
方 策	<p>1 学年集会や面談等を利用し、定期テスト、課題テストおよび校内テストを見直すことの大切さを理解させ、学年担当者だけでなく、教科担当者からも生徒が見直すような働きかけをする。</p> <p>2 三点固定を意識した規則正しい生活を送り、学習習慣が定着するように、「スケジュール帳」やそれに準ずるものを積極的に活用させる。</p> <p>3 高い進路目標を持つ集団を、補講や大学志望別集会などを通じて早期に形成させ、お互いに切磋琢磨できる環境を学校生活のさまざまな場面で育成するように努める。</p> <p>4 学年集会や講演会、「進路のしおり」等を通して、生徒にとって必要かつ有意義な情報の提供ができるように努める。</p> <p>5 「キャリア・パスポート」の作成およびその活用や、社会人や大学生を招いたキャリア教育により、主体的に「学びに向かう力」を育むことができるように支援する。</p>	

(評価基準 A:達成した B:ほぼ達成した C:現状維持 D:現状より悪くなった)

令和3年度 富山高等学校アクションプラン-4-

重点項目	特別活動の充実	
重点課題	学校行事への主体的な取り組みと3年次における部活動から学習への切り替え	
現 状	<p>学校行事は生徒が主体的に企画し、運営を行うことが基本である。しかし、実際には教師が主導的な立場となって立案し、生徒が下請けのような場面が多く見られ、実際にそのように感じている生徒も少なくない。本校では生徒中心の運営がほぼ定着してきているとはいえ、まだ不十分である。コロナ禍の中、多くの人数が集う行事が多く、実施には過去の実践例に縛られない多くの創意工夫が必要である。しかしこのような状況下での実践こそ生徒の思考力・判断力が育つ主体的な学びの場であると捉え、さらなる進捗をはかりたい。</p> <p>また3年生は8割強の生徒が部活動に所属することから、部活動に参加することが、より良い学校生活や進路選択につながるように支援していきたい。</p>	
達成目標	1.本校の二大学校行事(体育大会、文化活動発表会)で自ら主体的に運営できたと感じる生徒が80%以上。 充実していたと感じる生徒が80%以上。	2.部活動の引退後、1ヶ月以内に進路選択の為の学習に切り替えられる生徒が90%以上。
方 策	<p>1 年間における特活行事の時期・目的・内容等の検討を行う。</p> <p>2 主な学校行事(体育大会、文化活動発表会、)に対して以下の項目を中心にアンケートを実施する。①生徒が主体的に企画し運営できていたか。②この行事は充実していたか。③その他意見</p> <p>3.部活動の引退後、早期に進路の決定に向けて意欲的に取り組むことができたかアンケートを取り、指導に役立てる。</p>	

(評価基準 A:達成した B:ほぼ達成した C:現状維持 D:現状より悪くなった)